

高知県感染症発生動向調査（週報）

2021年 第44週 （11月1日～11月7日）

インフルエンザ予防接種について！

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められており、ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われていています。かかりつけ医等医療機関にご相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

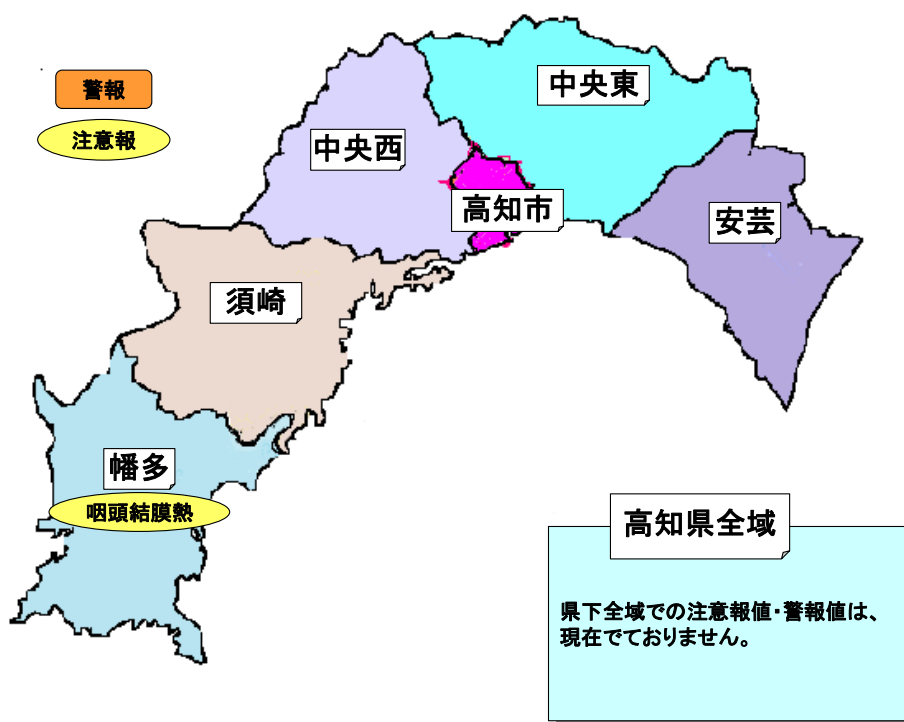
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↓：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	1.57	幡多で減少していますが、須崎、中央東、中央西で急増、県全域で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	0.43	中央東で急減、高知市で減少していますが、須崎、幡多、安芸で急増しています。
突発性発疹	→	0.32	須崎、幡多で急減、中央西で減少していますが、安芸、中央東で急増、高知市で増加しています。
咽頭結膜熱	↑	0.18	高知市で急減していますが、県全域、幡多で急増し、幡多では注意報値を超えています。
手足口病	↓	0.11	県全域、幡多、高知市、中央西で急減していますが、須崎で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

予防接種は大切です。

予防接種とは、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。ワクチンを接種した方が、病気にかかることを予防したり、人に感染させてしまうことで社会に病気が蔓延してしまうのを防ぐ効果があります。また、病気にかかったとしても、ワクチンを接種していた方は重い症状になることを防げる場合があります。

●高知県庁ホームページ 健康対策課感染症対策 予防接種について

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/kansen-yobousessyu.html>



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

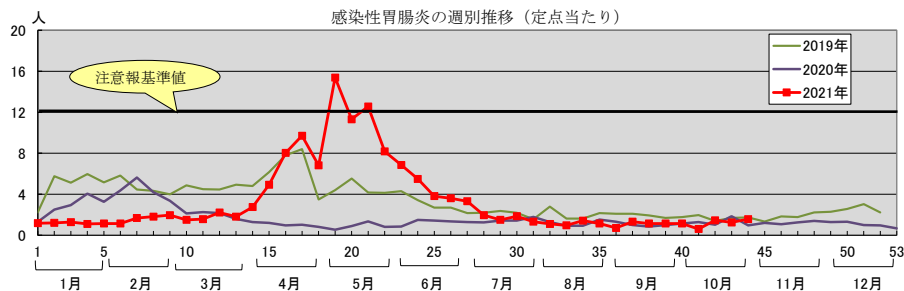
○感染性胃腸炎に気を付けて！

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは12～48時間程度、その他のウイルスは24～72時間程度、細菌は数時間～5日程度です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年を通じて発生していますが、特に冬場に流行します。発症してから通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長い時には1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



<予防方法>

・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。（ノロウイルスについてアルコール消毒は無効です）

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう。

食中毒の一般的な予防方法（【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

【学校感染症】

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときはこの限りでないと規定されています。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
 - マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
 - 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
 - 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	49	60歳代 男性	高知市

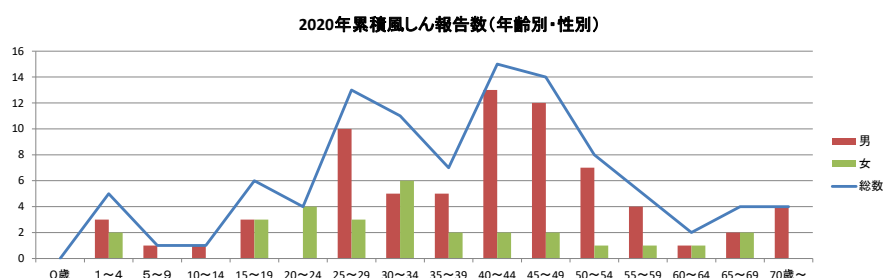
★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	おひさまこどもクリニック	43w カンピロバクター腸炎 1例（4歳男）
	JA 高知病院小児科	溶連菌咽頭炎 1例（11歳女）
高知市	けら小児科・アレルギー科	サルモネラ O9 腸炎 1例（7歳） アデノウイルス咽頭炎 1例（0歳）
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症 1例（2歳女）
	福井小児科・内科・循環器科	ヘルパンギーナ 2例 溶連菌感染症 1例
須 崎	もりはた小児科	ノロウイルス感染症 2例 カンピロバクター腸炎 1例
幡 多	渭南病院小児科	カンピロバクター腸炎 1例（13歳男）
	こいけクリニック	アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳女）
	さたけ小児科	アデノウイルス 1例（3歳男）

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2021年43週までの累積報告数は10人（男性7人、女性3人）、2020年累積報告数は100人（男性71人、女性29人）となっており、そのうち87%（87人）が成人で、25歳から50歳代の男性が中心となっています。



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。

風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

対象者：高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
- ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

●厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

●無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

●風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

○高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVIT-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数

		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	県外	総計
10月	11	月		1					1
	12	火				5			5
	13	水							0
	14	木			2	1			3
	15	金			2				2
	16	土	1		2				3
	17	日			3	1			4
	18	月			4	4			8
	19	火			2				2
	20	水			1	1			2
	21	木			2	1	1		4
	22	金			2	1			3
	23	土							0
	24	日			1	1			2
	25	月							0
	26	火							0
	27	水			2				2
28	木							0	
29	金			1		1		2	
30	土			2		2		4	
31	日			1				1	
11月	1	月							0
	2	火			1				1
	3	水							0
	4	木							0
	5	金							0
	6	土							0
	7	日							0
総計		109	520	2964	264	133	174	2	4166

数字は各地域でその日陽性が確認された数
総計はR2年2月28日以降の報告者数

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2021年11月8日現在の情報により作成
しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ
りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

定点名	疾病名	第44週 令和3年11月1日(月)～令和3年11月7日(日)							高知県衛生環境研究所			
		保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(43週)	高知県(44週末累計) R3/1/4～R3/11/7
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	20 ()	4 (0.08)	806 (0.16)
小児科	咽頭結核熱						5	5 (0.18)	1 (0.04)	325 (0.10)	226 (7.53)	28,042 (8.89)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1			5		2	4 (0.43)	12 (0.43)	1,882 (0.60)	407 (13.57)	77,550 (24.60)
	感染性胃腸炎	2	10		25	1	3	3 (1.57)	35 (1.25)	8,215 (2.61)	4,035 (134.50)	367,971 (116.71)
	水痘				1			1 (0.04)	4 (0.14)	250 (0.08)	137 (4.57)	13,902 (4.41)
	手足口病						2	1 (0.11)	3 (0.11)	4,790 (1.52)	1,056 (35.20)	43,231 (13.71)
	伝染性紅斑							()	()	48 (0.02)	35 (1.17)	1,883 (0.60)
	突発性発疹	1	2		4	2		9 (0.32)	11 (0.39)	1,072 (0.34)	409 (13.63)	51,014 (16.18)
	ヘルパンギーナ				2			2 (0.07)	5 (0.18)	1,920 (0.61)	1,050 (35.00)	27,632 (8.76)
	流行性耳下腺炎							()	()	120 (0.04)	28 (0.93)	6,469 (2.05)
	RSウイルス感染症						1	1 (0.04)	()	949 (0.30)	3,209 (106.97)	218,473 (69.29)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	120 (0.17)
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	131 (0.19)	19 (6.33)	5,704 (8.22)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	4 (0.01)	5 (0.63)	298 (0.62)
	無菌性髄膜炎							()	()	8 (0.02)	2 (0.25)	377 (0.79)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	8 (0.02)	9 (1.13)	609 (1.27)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	18 (0.04)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	4 (0.50)	65 (0.14)
計 (小児科定点当たり人数)	4 (2.00)	12 (1.72)		37 (4.11)	3 (1.00)	8 (4.00)	13 (2.60)	77 (2.76)		19,747	10,635 (353.15)	844,164
前週 (小児科定点当たり人数)	3 (1.50)	10 (1.42)		37 (3.99)	5 (1.66)	7 (3.50)	15 (3.00)		77 (2.72)			

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	第44週							高知県衛生環境研究所				
		保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(43週)	高知県(44週末累計) R3/1/4～R3/11/7	全国(43週末累計) R3/1/4～R3/10/31
インフルエンザ	インフルエンザ										0.08	0.16	
小児科	咽頭結核熱						1.00	0.18	0.04	0.10	7.53	8.89	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50			0.56		1.00	0.80	0.43	0.60	13.57	24.60	
	感染性胃腸炎	1.00	1.43		2.78	0.33	1.50	0.60	1.57	2.61	134.50	116.71	
	水痘				0.11				0.04	0.14	0.08	4.41	
	手足口病						1.00	0.20	0.11	1.52	35.20	13.71	
	伝染性紅斑									0.02	1.17	0.60	
	突発性発疹	0.50	0.29		0.44	0.67			0.32	0.39	0.34	13.63	16.18
	ヘルパンギーナ				0.22				0.07	0.18	0.61	35.00	8.76
	流行性耳下腺炎										0.04	0.93	2.05
	RSウイルス感染症						0.50		0.04		0.30	106.97	69.29
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.17	
	流行性角結膜炎								0.33	0.19	6.33	8.22	
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.63	0.62	
	無菌性髄膜炎									0.02	0.25	0.79	
	マイコプラズマ肺炎									0.02	1.13	1.27	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.04	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.50	0.14	
計 (小児科定点当たり人数)	2.00	1.72		4.11	1.00	4.00	2.60	2.76			353.15		
前週 (小児科定点当たり人数)	1.50	1.42		3.99	1.66	3.50	3.00		2.72				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2021年 第44週)

